

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)		
事業名	文化財の国際協力の推進			担当部局庁	文化庁		作成責任者	
事業開始年度	昭和62年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	文化資源活用課		文化資源活用課長 篠田智志 文化財第一課長 齋藤憲一郎	
会計区分	一般会計							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	海外の文化遺産の保護に係る国際的な協力の推進に関する法律(平成18年法律第97号)第3条、第6条、第7条ほか			関係する 計画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第4次基本方針) (平成27年5月22日閣議決定) 海外の文化遺産の保護に係る国際的な協力の推進に関する基本的な方針(平成26年外務省・文部科学省告示第1号)			
政策	12 文化芸術の振興			主要経費	その他の事項経費			
施策	12-2 文化芸術を通じた創造的で活力ある社会の実現							
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-12_2.pdf							
事業の目的 (5行程度以内)	我が国がこれまで蓄積してきた文化遺産保存修復に係る高度な知識・技術・経験を活用し、海外の文化遺産保護の拠点となる機関との連携による保存修復事業を通じ、相手国の専門家の育成を図り、海外の文化遺産保護に対する国際協力を推進する。							
現状・課題 (5行程度以内)	人類共通の貴重な財産である文化遺産が、武力紛争、自然災害、開発等により損傷、衰退、消滅、若しくは破壊のおそれがある。これら海外の文化遺産の保護・継承に貢献するとともに、我が国の国際的地位の向上を図るため、継続的な事業実施が必要となる。							
事業概要 (5行程度以内)	①文化遺産国際協力拠点交流事業：日本の文化遺産保護の専門家を活用し、保存修復事業を通じた相手国の専門家の人材養成を行う。 ②無形文化遺産保護パートナーシッププログラム：アジア太平洋地域における無形文化遺産保護に資する調査研究事業を実施する。 ③文化遺産国際協力コンソーシアム事業：官民が連携を強化し、効果的・効率的な文化遺産国際協力を推進するため、国際各機関間のネットワーク構築、情報の収集・提供、文化遺産国際協力に関する調査研究等を実施する「文化遺産国際協力コンソーシアム」の運営を行う。 これらの他、アジア太平洋地域世界遺産等文化財保護協力推進事業、戦略的二国間文化遺産国際交流推進事業、文化財の海外交流・協力の推進、アジア諸国文化財の保存修復等協力事業、ユネスコ無形文化遺産戦略的登録等推進事業を実施。							
事業概要URL	https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokusaibunka/bunkazaihogo/kokusai_koken/index.html							
実施方法	委託・請負、その他							
補助率等	-							
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求	
	予算の 状況	当初予算(A)	356	348	350.7	350.8		
		補正予算(B)	▲ 5	-	-	-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-		
		予備費等(E)	-	▲ 37	-	-		
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	351	311	350.7	350.8	350.8		
	執行額(G)		263	284	281			
	執行率(%) =(G)/(F)		75%	91%	80%			
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/{(A)+(B)}		75%	82%	80%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	(項)		文化財保存事業費					
		(目)	文化芸術振興委託費	218				218
		(目)	政府開発援助文化財保護業務委託費	47				47
		(目)	文化財保存修復研究国際センター分担金	36				36
		(目)	政府開発援助文化財保存修復研究国際センター分担金	12				12
		(目)	文化人等派遣旅費	11				11
			その他	27				27
	計(A)		350.8	350.8				

活動内容① (アクティビティ)		我が国がこれまで蓄積してきた文化遺産保存修復に係る高度な知識・技術・経験を活用し、海外の文化遺産保護の拠点となる機関との連携による保存修復事業を通じ、相手国の専門家の育成を図る。									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		海外の文化遺産保護の拠点となる機関との連携による保存修復事業を実施する。	文化遺産の国際協力において実施した事業件数	活動実績	件	14	15	12	－	－	
				当初見込み	件	12	12	12	12	12	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	仕様書や受託先へ送付する実務手引書に研修参加者に対して研修内容の有益度を測定するようアンケートの実施について明記しているため。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 － 年度		
		文化遺産保護国際貢献事業等における研修参加者の有益度指数(肯定的回答の割合)が95%以上となることを目標とする。	アンケート調査で研修が役立ったと回答した割合(平成28年度より目標値を95%に変更)	成果実績	%	97	98	99	－		
				目標値	%	95	95	95	－		
				達成度	%	102.1	103.2	104.2	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		委託事業成果報告書									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		アクティビティの実施が目的に直接結びつき、研修参加者の有益度調査により、事業実施の効果を総合的に把握できると考えられるためアウトカムを複数設定していない。									
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称	－									
	URL	－									
	該当箇所	－									
事業所管部局による点検・改善											
点検結果		本事業は、対象国の文化遺産保護に係る専門家の人材育成等による国際協力を通じて、国際貢献を図るとともに我が国の国際的地位の向上に資することを目的とするものであり、十分な成果をあげている。また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、現地への渡航が困難になったが、オンラインを活用することで、事業を実施することができた。その使途及び支出の把握については、成果報告書の他に会計書類の写しなどを提出させて確認し、適正な執行管理を図るとともに、経費削減に努め、費用の効率化を図るよう努めている。					目標年度における効果測定に関する評価(令和〇年度実施)				
							－				
改善の 方向性		引き続き、契約の競争性・透明性を確保し、執行の更なる効率化に努めるとともに、緊急性の高い国・地域の文化遺産への効率的な国際協力が実施できるよう関係省庁との連携をはかる。また、企画競争を実施する際は、引き続き十分な公告期間、事業準備期間が設けられるよう留意する。									

[illegible]

文化庁
281百万円

諸謝金等 1百万円
職員旅費 5百万円
委員等旅費 0.5百万円
文化人等派遣旅費 2百万円
庁費 3百万円
を含む

文化遺産保護国際貢献事業

文化遺産国際協力
拠点交流事業

委託【随意契約（企画競争）】

A:独立行政法人等
全8機関
76百万円

カンボジア、アルメ
ニア、ウズベキス
タン等の専門家を対象
にした、文化遺産保
護等に関する人材育
成を実施。

再委託【随意契約（その他）】

E:学校法人
中部大学
0.6百万円

各事業における専門
業務を実施。

文化遺産国際協力
コンソーシアム

委託【随意契約（企画競争）】

B:(独)国立文化財機構
東京文化財研究所
43百万円

文化遺産国際協力
コンソーシアムの
運営を実施。

無形文化遺産保護
パートナーシッププログラム

委託【随意契約（企画競争）】

C:(独)国立文化財機構アジア太平洋
文化遺産研究センター
45百万円

無形文化遺産保護条約の締約国とし
て、海外の無形文化遺産保護のため
の国際協力を実施。

緊急的文化遺産
国際貢献事業

委託【随意契約（企画競争）】

D:学校法人
中部大学
5百万円

緊急度の高い海外の文化遺産
の保存・修復等に関する
国際協力として、専門家等
による調査研究、情報収集
及び情報分析、保存・修復
のための研修を実施。

アジア太平洋地域世界遺産等
文化財保護協力推進事業

委託【随意契約（公募）】

F:(公財)ユネスコ・アジア
文化センター
47百万円

アジア太平洋地域世界
遺産等文化財保護協力
推進事業を実施。

国際文化財保護協力
機関連携推進事業

【拠出金】

G:文化財保存修復
研究国際センター
9百万円

我が国が加盟している
国際機関に対する拠出
金。

文化財保存修復研究
国際センター分担金

【分担金】

H:文化財保存修復
研究国際センター
44百万円

我が国が加盟してい
る国際機関に対する
分担金。

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.			B.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	雑役務費	テキスト制作費	8.2	人件費	研究補助員等賃金	19
	旅費	講師旅費等	2	雑役務費	ウェブサイトリニューアル、研究会等報告書印刷、動画制作等	11.1
	一般管理費	一般管理費	0.9	一般管理費	一般管理費	3.9
	その他	通信運搬費、消費税相当額	0.8	旅費	国際協力調査等	3.3
	消耗品費	研修消耗品等	0.5	その他	会議費、通信運搬費、消費税相当額	2.2
	諸謝金	講師謝金等	0.3	借損料	レンタルサーバー等	1.4
				諸謝金	講演者謝金等	1
				消耗品	ソフトウェア年間ライセンス等	1
	計		12.7	計		42.9
	C.			D.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	研究補助員等賃金	22.5	諸謝金	講師謝金等	3
	諸謝金	調査謝金等	6.5	旅費	講師旅費等	0.9
	旅費	会議参加旅費等	6.2	その他	消耗品費、消費税相当額、一般管理費	0.8
	一般管理費	一般管理費	4.1	雑役務費	展示用パネル作成費、ワークショップ録画記録編集費	0.3
	その他	消耗品費、通信運搬費、消費税相当額	3.8			
	雑役務費	研究データベース、記録集作成、通訳費用等	2			
	借損料	会場借料、機材借料等	0.1			
	計		45.2	計		5
	E.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	諸謝金	データ整理・処理、図化作業謝金	0.4	雑役務費	研修ビデオ、テキスト作成等	21
	その他	旅費、消耗品費、消費税相当額、一般管理費	0.2	人件費	研究補助員等賃金	9.5
				諸謝金	講師謝金、資料作成謝金等	5.7
				一般管理費	一般管理費	4.3
				借損料	国際会議に係る会場機器使用料等	3
				旅費	講師旅費等	2
				その他	消耗品費、会議費、消費税相当額	1.2
				通信運搬費	海外あて送料等	0.7
	計		0.6	計		47.4
	G.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	拠出金	拠出金	8.6	分担金	分担金	43.6
	計		8.6	計		43.6
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック	

